

肺切除術後における胸腔内圧の変動が肺癰遷延に及ぼすリスクの検討

1. 研究の対象

2020 年 1 月～2022 年 4 月に当院で肺切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

肺切除術の術後管理において近年ポータブルデジタル胸腔ドレナージシステムを使用したより正確な排液管理を行っています。また、ポータブルデジタル胸腔ドレナージシステムが測定した肺癰量や肺癰パターンによって肺癰遷延を予測することができることが報告されています。その測定値の有用性や、肺癰遷延を予測する因子を検討することで、より合併症の少ない術後管理を行う方策を探索することを目的とします。

3. 研究に用いる情報の種類

① 基本情報

性別、肺切除時の年齢、身長、体重、喫煙歴等

② 手術に関する情報

肺切除の手術日や術式、手術時間等

③ 術後情報

術後呼吸器合併症の有無、ポータブルデジタル胸腔ドレナージシステムによる測定値等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 副部長 神崎 隆

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 主任部長 岡見 次郎